

図書案内11月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館

文庫本特集 あなたは書店で買いますか？ 図書館で借りますか？

「ぼくの宝物絵本」穂村弘著 (019.53/ホ)



絵本は子供だけのものじゃない。ページを開けばそこは天国。古今の名作絵本の魅力が、オールカラーの図版とともに紹介されています。著者がなぜ会社を辞めて、歌人になったのかを語っているようです。

「櫻子さんの足下には死体が埋まっている 12巻」



太田紫織著 (913.6/オ/12)

テレビドラマにもなった、シリーズ第12弾です。東京の兄さんから「2人で旅行しよう」と連絡があった。行き先は足寄と網走。見たい骨関係の展示があるらしい。秋の北海道旅行が始まり…。

「心の掃除」の上手い人下手な人 斎藤茂太著 (159/サ)



ストレスをためているから人の目が気になる。引け目があるから卑屈になる。そんな悪循環を断つ為にはまず明るい挨拶を。笑顔に切替えれば、クヨクヨした気分がオフになり、いい空気が生まれる。心のホコリを上手に振り払って、前向きな自分を取り戻すコツを教えてください。

「先生! ...好きになってもいいですか?」岡本千紘著 (913.6/オ)



まだ恋を知らない響は高校2年生。ある出来事から、ロベタだけど生徒思いの世界史教師・伊藤の人柄に触れ、初めての感情を覚える。コミック原作の映画ノベライズ本です。

「秘密結社の世界史」海野弘著 (361.65/ウ)



人はなぜ“秘密結社”に魅せられるのか?古代儀、テンプル騎士団、薔薇十字団、フリーメーソン、イルミナティ、KKK、ナチス、カルト、マフィア、そしてトランプ。古代から中世、近代、20世紀、現代に至るまで、秘密結社という隠された視点から世界史を読み直します。

「化学探偵Mr.キュリー 6」喜多喜久著 (913.6/キ/6)



シリーズ第6弾。四宮大学にアメリカから留学生が来ることになった。彼女は16歳で大学に入った化学の天才エリー。沖野の研究室で天然素材「トーリタキセルA」の全合成に挑むことになるが…。

「野山の生き物ポケット図鑑」久保田修著 (480/ク)



近くの野山に行くだけで、普段見かけない動物に会うことができます。タヌキなどの哺乳類や、カエルなどの両生類、野鳥や昆虫など日本国内には多くの動物が生息しています。そんな豊かな自然を理解するための一冊です。クマに出くわした時の回避法もわかります。

「キネマ探偵カレイドミステリー 2」斜線堂有紀著 (913.6/シ/2)



シリーズ第2弾。火事で家が燃え、喰井戸が住む銀塩荘の一階に引っ越した奈緒崎は、喰井戸の部屋に入り浸る日々を過ごしていた。夏休みが終わり、大学に赴いた奈緒崎は同級生にかけられた窃盗容疑を晴らすため、喰井戸のもとへ向かうが…。

「沖縄を変えた男: 裁弘義(さいひろよし) 高校野球に捧げた生涯」松永多佳倫著 (783.7/マ)



名将 裁弘義は沖縄水産高校を率い、1991、92年の夏の甲子園で準優勝を果たした。一切の妥協を許さない厳しさがあった。成功の裏に隠された命を削るほどの重圧と孤独に迫るノンフィクションです。

「アシガール」せひらあやみ著 (913.6/セ)



速川唯は16歳のぐうたら女子高生。なぜか誰よりも足は速かった。ある日、弟の尊が作ったタイムマシンでうっかり戦国の世へ行き、出会った若君に一目ぼれ。そして史上初の足軽女子高生が誕生した!

「書けますか?自分の名前の「書き順」「日本人に多い名字」編」「日本語書き順」研究会編 (811.29/ニ)



自分の名前を正しい書き順で書けますか?例えば、西村さんの「西」第二画はどれ?日本人に多い名字の上位500位に使用される漢字の書き順(筆順)が収録されています。名字の意味、由来、発祥が多い都道府県地名など、自分の名前のルーツも知ることができます。

「ばけたま長屋」輪渡颯介著 (913.6/ワ)



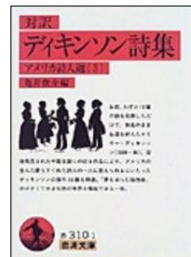
裏長屋に仕事場を構えた指物師(木工職人)の弦次。ところが長屋は空き部屋ばかり。どうやらある部屋に、女の幽霊が出るせいで誰も居つかないらしい。町絵師の朔天とともに、原因究明という名のおばけ退治に乗り出すが…。

「探偵太宰治」上野歩著 (913.6/ウ)



津島修治(太宰治)は、次々と行方不明事件を解決するが、同時に自分の中の大切な何かを失っていく。心機一転、作家としての成功を目論み、難事件の解決に乗り出す。過ちを繰り返しながらも人々を惹きつける太宰の魅力とは何か。

「ディキンソン詩集」エミリー・ディキンソン著 (931.6/デ)



生前、わずか10篇の詩を発表しただけで、無名のまま生涯を終えたエミリー・ディキンソン。没後発見された1000篇以上にのぼる作品により、アメリカの生んだ最もすぐれた詩人の一人に数えられています。そんなディキンソンの魅力を堪能できる1冊です。